

# 防災対応

・いつ発生するか判らない災害に対して

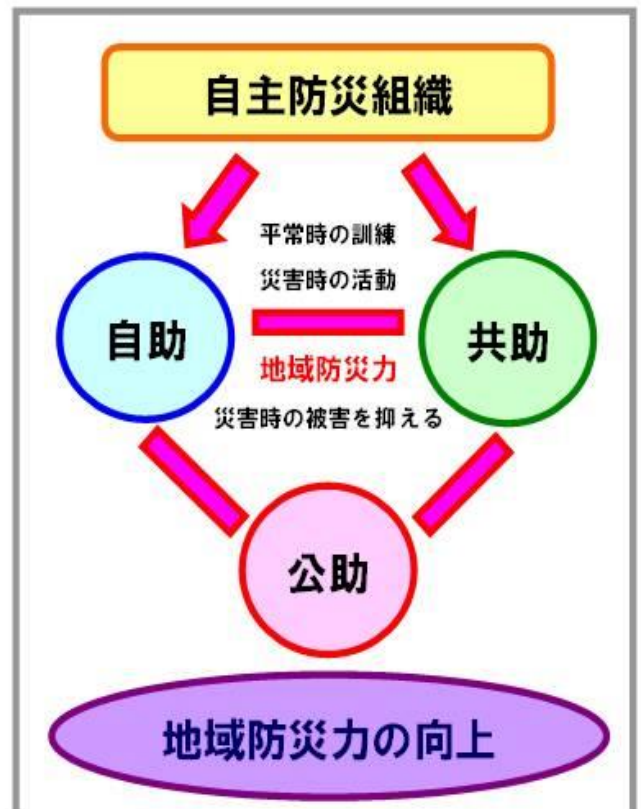
- ① 自分自身や家族の命と財産を守るために、自分で家族で防災に取り組む。
- ② 各家庭で3日分、できれば1週間程度の備蓄(食料・水)医薬品、アレルギー対応食品等の非常時持ち出し品の準備。

→ ①、② **自助**

- ③ まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々と助け合う。
- ④ 地域の助け合いを大切にし、高齢者、障害者などの要援護者を地域ぐるみで災害から守るように努め、心がける。
- ⑤ 年4回行われる「安否確認訓練」「防災訓練」には積極的に参加し、『顔の見える関係』づくりを！！

→ ③、④、⑤ **共助**

自助・共助意識の  
啓発を！！



## <具体的な動き>

### 1. 行政からの避難命令・避難勧告等(震度5強)の発令

『わが家は大丈夫!』と書かれた黄色いリボンを道路から見える場所に掲げ豊田小学校へ避難。但し、行政からの避難勧告等が出なくても、大きな地震や水害等で家にいるのが不安な方は、町内会館に避難してください。

### 2. 防災マップ…5つの地区分け

長沼町内会は5つの地区に分かれています。(「防災エリアマップ」参照)

それぞれに地区長・副地区長・役員を配置しています。(「避難場所」参照)

★ 自分の「組」・「地区」を確認しておきましょう ★

### 3. 備蓄品倉庫の点検(備蓄品の管理)

備蓄品倉庫は、防災役員、消防団により毎年3~4回点検しています。

水、缶詰等の非常用食品や下水道直結式トイレ、新型移動式炊飯器、重機等約100品目以上を備蓄しています。

※ 食料品については年2回、役員立ち合いのもと、行政が点検しています。

### 4. 防災倉庫・地域避難所(長沼コミュニティ館)

長沼コミュニティ館には防災倉庫としての部屋があり、簡易ベッド、応急担架、車椅子、発電機、照明、石油ストーブ、ブルーシート等の防災用品があります。また災害時には「地域避難所」として使用します。



## 5. 各種防災訓練の実施

### A. 安否確認訓練

- 実施時期 5月、7月、9月、11月
- 対象者 長沼町内会員全員
- 内容
- ・ 各家庭が「わが家は大丈夫！」と書かれた黄色いリボンを道路から見える場所に掲げる。
  - ・ 組長は自分の組を巡回し、待機している地区長に報告(※)
  - ・ 地区長は高性能トランシーバーで本部に報告

#### (※) 地区長待機場所

- 第一地区 … 長沼八幡社下      第二地区 … 長沼コミュニティ館看板付近
- 第三地区 … 消防小屋前      第四地区 … 牛乳屋前
- 第五地区 … 恒陽マンション エントランス





## B. 地域防災訓練(豊田小学校地域防災拠点)

- 実施時期 9月上旬
- 対象者 長沼町内会員、かいがら坂ハイツ、コープ野村
- 内容
- ① 本部、避難者受付の設置
  - ② 避難者カード記入
  - ③ 体育館区割り
  - ④ 下水道直結式トイレ組立
  - ⑤ 公衆電話設置
  - ⑥ 炊飯器使用訓練



②避難者カード記入



④下水道直結式トイレ組立

## C. 要援護者避難訓練

- 実施時期 10月上旬
- 対象者 自力で豊田小学校まで避難できない人(支えあいカード)
- 内容
- ・ 防災役員、防災ボランティアが要援護者宅まで迎えに行き、車椅子等で豊田小学校へ

★『支えあいカード』は要援護者の安否確認・情報伝達・救出救護・避難誘導が近隣の助け合いのもとに円滑に進むように、長沼町内会があらかじめ該当世帯を把握するものです。『支えあいカード』は毎年更新です ★



## D. 豊田小学校合同防災訓練

実施時期	11月下旬(豊田小学校オープンスクールデー)
対象者	長沼町内会員、かいがら坂ハイツ、コープ野村 豊田小学校児童、PTA、教職員
内容	豊田小学校児童の避難訓練と 合同で実施



- ① 本部、避難者受付の設置
- ② 避難者カード記入
- ③ 体育館区割り
- ④ 下水道直結式トイレ組立
- ⑤ 公衆電話設置
- ⑥ 炊飯器使用訓練
- ⑦ AED心肺蘇生訓練(6年生)
- ⑧ 水消火器訓練(5年生)



③体育館区割り

### 地域の人



⑥ 炊飯器使用訓練



豊田小学校児童の避難訓練



④ 下水道直結式トイレ組立  
(送水用ポンプでプールの水を引きこむ)



⑦ AED心肺蘇生訓練



⑧ 水消火器訓練